

# ロクハの自然をどうぞ 6月号



ロクハ公園にあるのはほとんどハナショウブ

## いずれ菖蒲（あやめ）か杜若（かきつばた）

ハナショウブ（花菖蒲）とアヤメ（菖蒲）とカキツバタ（杜若）は花がそっくりで混同しやすいです。タイトルはどれもすばらしいという慣用句

- ▶アヤメ・・・花びらの根元は黄色で、内側に筋が食い込んでいる。（=文目模様）
- ▶カキツバタ・・・花びらの根元は白色で、模様は入っていない。
- ▶ハナショウブ・・・花びらの根元は黄色で、その外側に筋が入っている。

3つの花はアヤメ科の仲間で、ショウブはイモ科、菖蒲湯に使う花が咲くショウブとして花菖蒲になる、アヤメなのにハナショウブと混同し「菖蒲」をアヤメと読ませる花札の菖蒲はアヤメだが本来はカキツバタ。八つ橋がある湿地にはアヤメは咲かないショウブの葉っぱは刃に見立て、尚武や勝負と関連付けられる菖蒲にからむ面白い話がいっぱいあります。



## クリ

クリの花が咲き始めています。臭いで分かります。扇状の花がたっぷりついて、そのあととっさり落ちる白い花のほとんどはオシベ。メシベは枝に2・3個、花の扇の枝近くに出てきます。クリのいがを感じさせるものが出ています

真ん中の白いものは雌花の柱頭のようなものでここに花粉が付くことで実ができます。栗のイガの中に三つできるのです。さてイガですが、この緑いる部分が成長しながらトゲトゲのイガになっていきます。6/11のものは6/3に比べ緑色の部品が細く変化していているのがわかります。6/22の写真はちがう花ですがより針状になりクリのいがそのものです。（2022年の記録より）



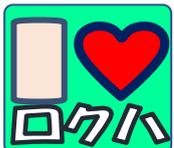
栗の花 秋・クリになる雌花

## そくそくキノコ

月末にキノコウォッチングを開催します。うかど気にしてましたが、この二日の雨は一気にキノコを育てています。ガイドをしてくださる先生によると、キノコの細胞の数は育ち初めから最後までかわらないそうです。水でふやけているみたいなものだそうです。



公園利用の呼びかけ看板のヒストグラム。公園利用の人だけでなく、すべての動植物を守るための大切なことです。



草木の花はいろいろな形で咲きます。



アザミ



アレチハナガサ



ヒメカマ



クサイ



ツユクサ



ハナショウブ



ハルジオン (春紫苑)



ヒメジョオン (姫女苑)



ネジバナ



キキョウソウ



ワルナスビ



ハマセンブリ



アジサイ



シモツケ



グミの実



ウメモドキ



イチヨウの銀杏



アカメガシワ

めばな (雌株)



おばな (雄株)



マテバシイの花

め花→

お花→

昨年受粉したものが今秋結実



エゴノキになるもの



エゴノキの実

エゴノキになる虫こぶ



ハクソカズラ



ナンテン



ムラサキシキブ



ネムノキ



ノウゼンカズラ

もともとは紫色の花がびっしり咲くという事でムラサキシキミだったのが紫式部と発音が似ているので、雰囲気もいいのでと改名になったかという話

糸のような雄しべをいっぱい出すきれいな花をつけます。公園の木はかなり大きくなっていて見過ごしがちです。葉が夜になると少し閉じるようです

夏のイメージがありますが、この時期から咲き始めます。地植えされたものは繁殖力がすごく壁でもはい上がっていきます

### 身近な生き物カエル

数が減ったカエルのいますがロクハ公園ではこの時期以下の6種のカエルが見られます。虫や小魚を食べます。ヒキガエルはいませんね。



トノサマガエル



ウシガエル



ニホンアカガエル



ニホンアマガエル



シュレーゲルアオガエル



ツチガエル

### カタツムリ結構います

梅雨時期の代表的な生き物としてカタツムリがいます。年間を通じてかなりの数みかけます。ぎょっとするほど集まっていることも



①



②



③



④

①は殻の形が違います。他に比べ厚みがありとんがっているように思えます。②③④形は同じですが模様違います。成長のちがいによって見られるちがいもあり学習中です。

### びっくり

とにかくでかい、長い



ヤマナメクジ



コウガイビル



光沢感がある

ニホントカゲ



トカゲ2種

かさかさとうろこ状

カナヘビ

# 樹液酒場プレオープン

クヌギやコナラ、アラカシなど樹液を出します。夏の盛りに比べると少ないですが、その樹液に虫が集まり始めます。それぞれ規模は小さいですがいろんな虫が集ってきます。危ないスズメバチや毒がある虫もいます。気をつけましょう



オオスズメバチ



カナブン

キスイムシ

シロテハナムグリ



カブトムシ♀♂



ノギリクワガタ♀♂

ヒカゲチョウ

コムラサキ



オオスズメバチ



夏の様子 数が増えてきます



キスイムシ



ホシアシナガヤセバエ



コムラサキ



ヒメジャノメ

樹液に集まるチョウ



ヒカゲチョウ



ルリタテハ



サトキマダラヒカゲ



ゴマダラチョウ



アキアカネ



コシアキトンボ 白い部分が抜けているので 腰空蜻蛉

アブの中でもムシヒキアブはこれから多く見られます虫を捕まえて体液を吸う狩りです。たくさんの種類がいて中には哺乳類につき吸うこともあります。記録写真の中には虫を捕まえているシーンが結構あります。



シヤアブ



サキグロムシヒキアブ

この時期に羽化してくるトンボでよく見られるものアキアカネはすぐに涼しい山間に移動、秋に再度見られる、夏の時期によく見られるショウジョウトンボ。秋のアカネトンボ群にははいらない。



ショウジョウトンボ



オニヤンマ

オニヤンマとは無縁、サナエトンボの仲間



マカリケムシヒキ



ムシヒキアブ



シロスジカミキリ



ヨツツハナカミキリ



キボシカミキリ



ナガゴマフカミキリ

種類が多いカミキリムシ

ロクハツアー・初夏から梅雨へ  
6月15日(日)



きのこウォッチング  
6月29日(日)

facebook「ロクハ見守り」  
www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP  
http://www.park-698.net//



編集後記 鳥情報は少なく虫の世界へ移行しつつあります。今期の梅雨はどんなでしょう。この時期らしい雨はほしいですが、災害級にならないように